

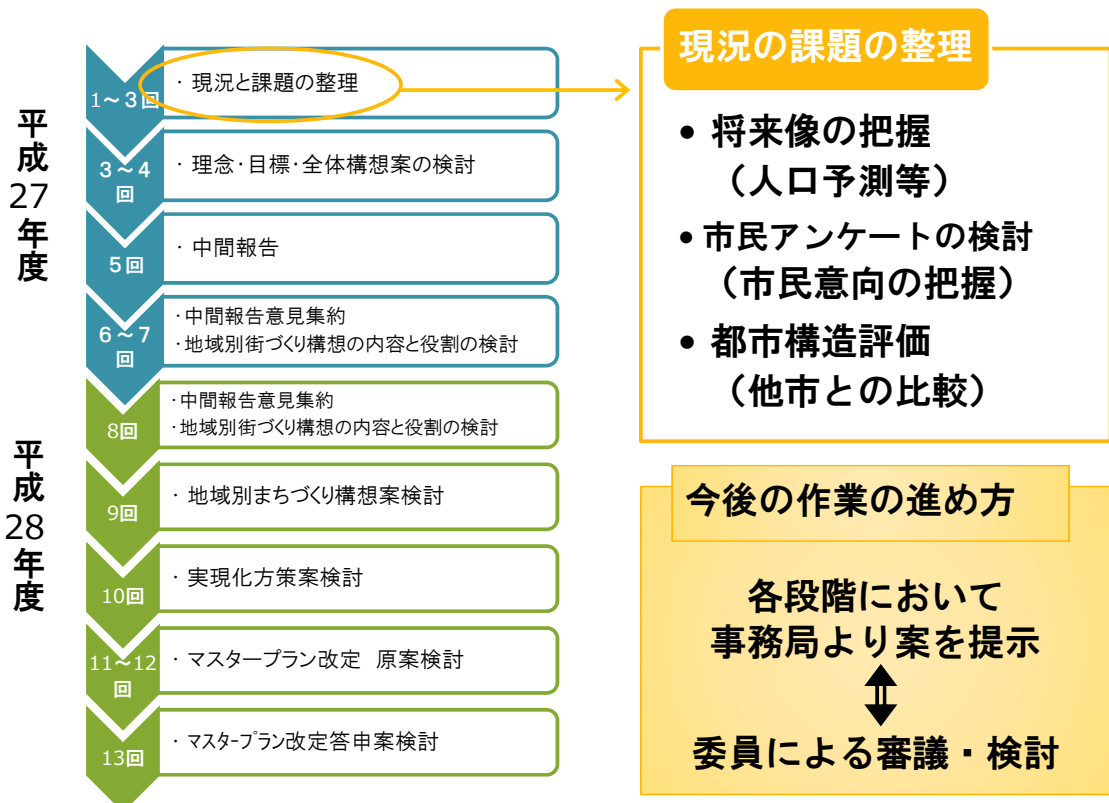
第2回長野市都市計画 マスタープラン改定専門部会

現況と課題の整理 ～人口予測の視点から～

長野市 都市整備部 都市計画課

1

スケジュール

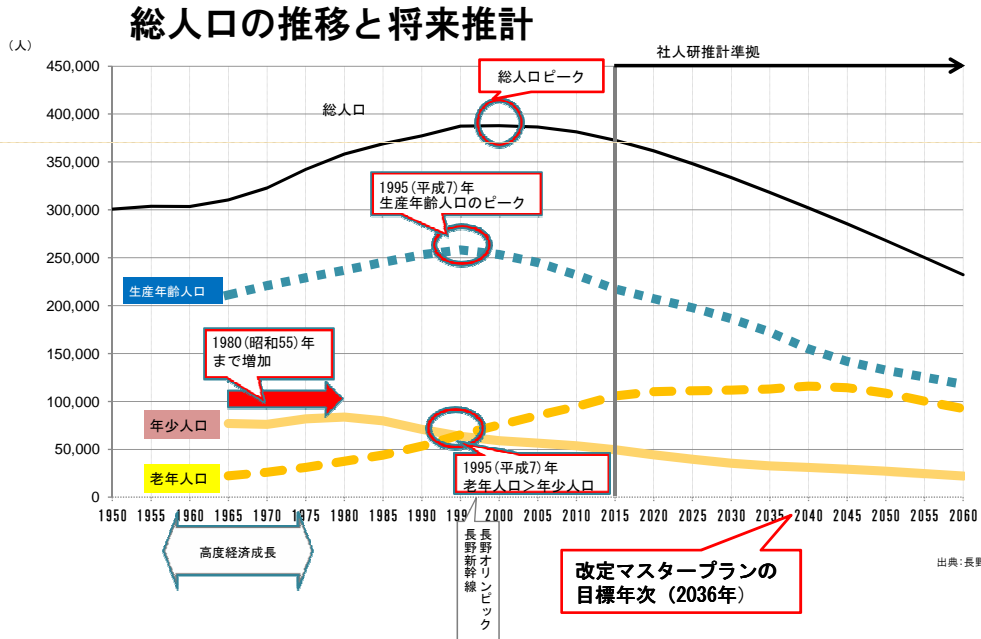


2

将来像の把握（人口予測の視点から）

人口等を分析し、人口減少に関する市民との意識共有、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すため「長野市人口ビジョン」を策定中

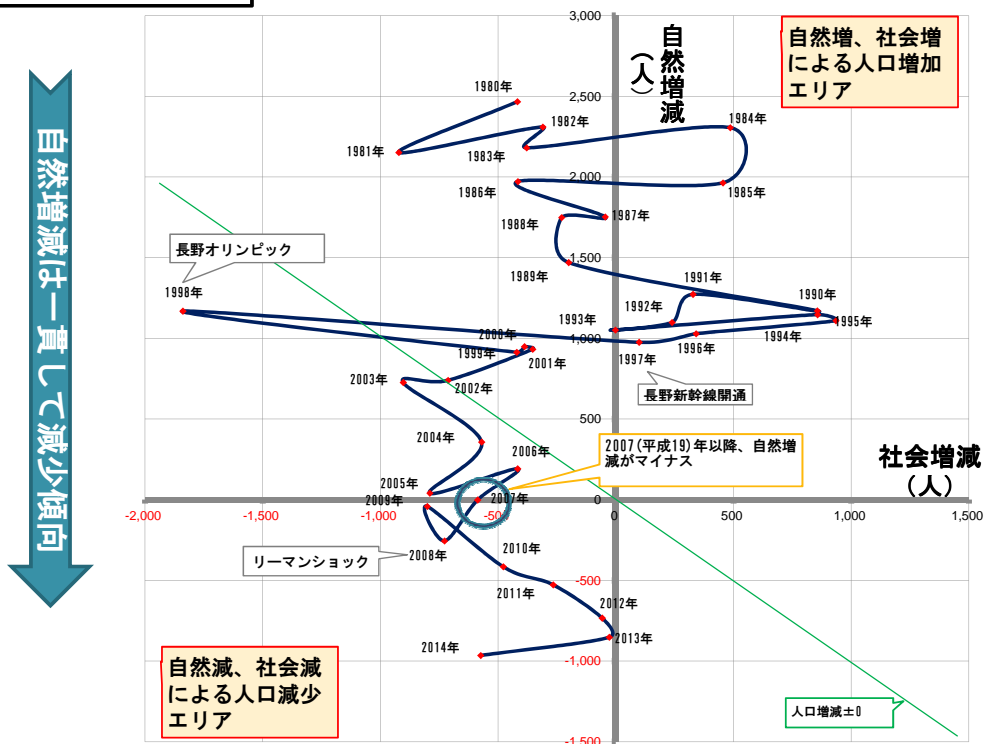
⇒「長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し施策を展開する



出典：長野市人口ビジョン（案）

将来像の把握（人口予測の視点から）

自然増減と社会増減の推移

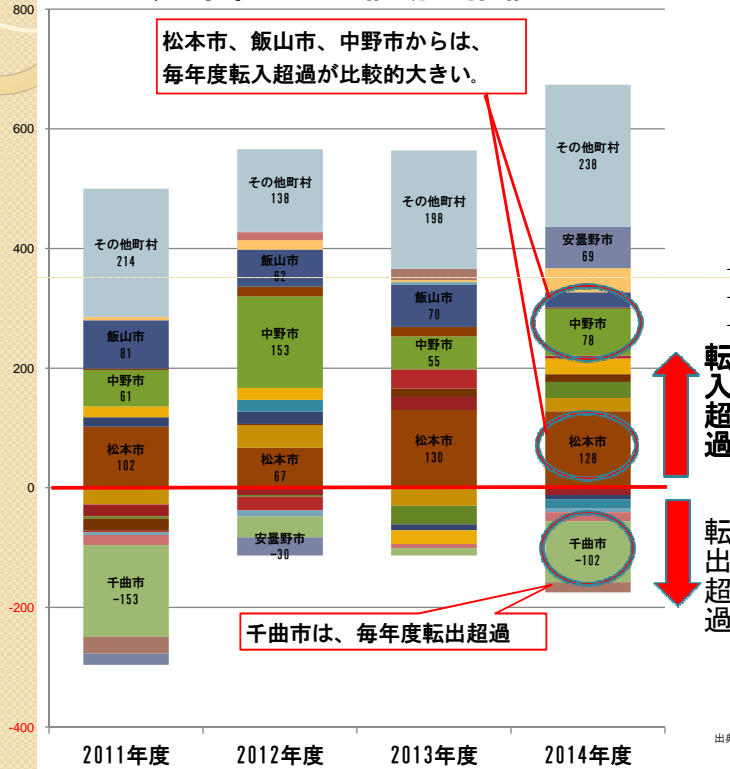


出典：長野市人口ビジョン（案）

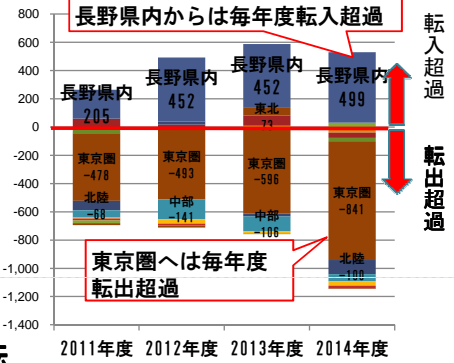
将来像の把握（人口予測の視点から）

社会増減の推移

長野県内人口移動の推移



地域ブロック別人口移動の推移

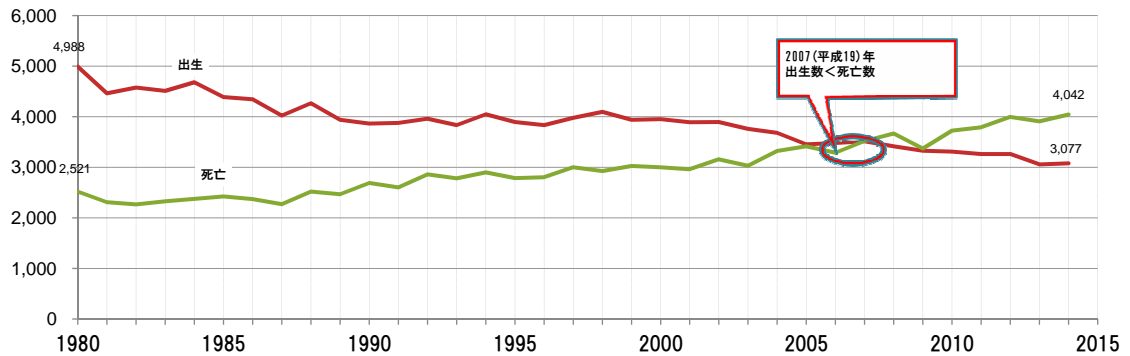


出典：長野市人口ビジョン(素案)

将来像の把握（人口予測の視点から）

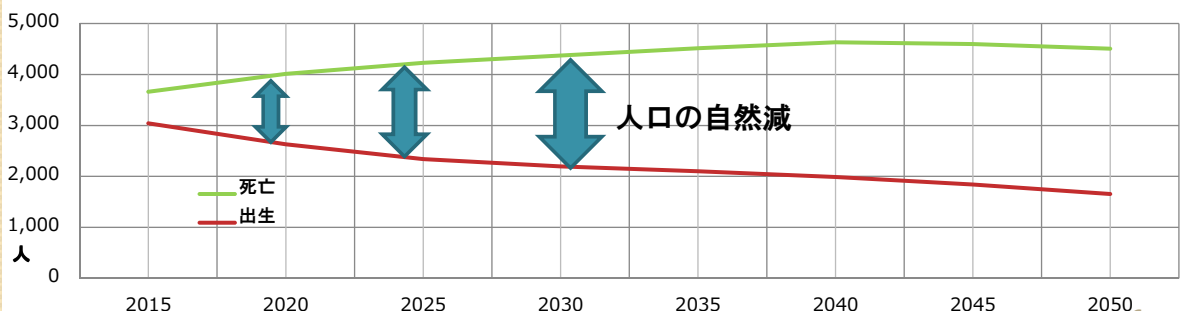
自然増減推移

過去の出生・死亡の推移



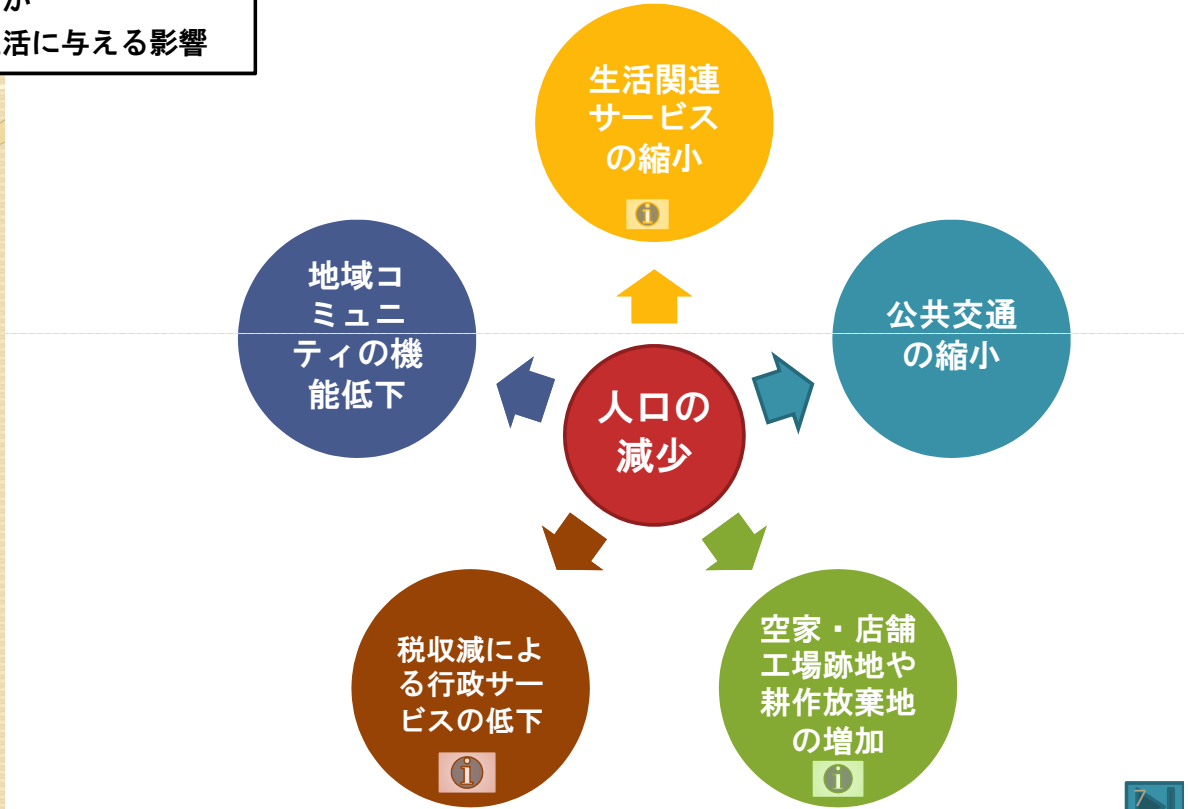
出典：長野市人口ビジョン(素案)

将来の出生・死亡者数の予測



将来像の把握（人口予測から）

人口減少が
まち・生活に与える影響



将来像の把握（人口予測から）

人口減少が
まち・生活に与える影響

人口規模とサービス施設の立地 （生活関連サービスの縮小）

出典：国土交通省資料

○ 商業・医療・福祉等の機能が立地し、持続的に維持されるためには、機能の種類に応じて、以下のような圏域人口が求められる。

周辺人口規模	3千人	5千人	1万人	3万人	5万人	15万人…
<医療>	地区診療所	診療所	地区病院	中央病院		
<福祉>	高齢者向け住宅 訪問系サービス	デイサービスセンター 地域包括支援センター 老健・特養			有料老人ホーム	
<買い物>	コンビニエンスストア	食品スーパー		商店街・百貨店等		

※人口規模と機能の対応は概ねの規模のイメージであり、具体的には条件等により差異が生じると考えられる。

出典：都市再構築戦略検討委員会専門家プレゼンテーションより国土交通省作成

商業施設の商圏と施設規模

- 商品の性質や業態の組み合わせ等で、商圏や立地戦略は様々
- *コンビニエンスストア
 - 大都市住宅地⇒商圏：半径500メートル、周辺人口：3,000人、流動客
 - その他の地域⇒商圏：半径2～3キロメートル（幹線道路沿いに立地）、周辺人口：3,000人～4,000人、流動客
- *食品スーパー（2,000～3,000㎡規模）⇒周辺人口1～3万人
- *ドラッグストア（1,000～1,500㎡規模）⇒周辺人口1～3万人

国土交通省 都市局 第2回都市再構築戦略検討委員会
有限会社 リテイルウォーク 代表 服部年明 氏 プレゼン資料より抜粋 38



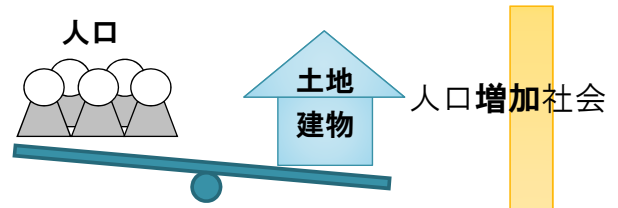
将来像の把握（人口予測の視点から）

人口減少が
まち・生活に与える影響

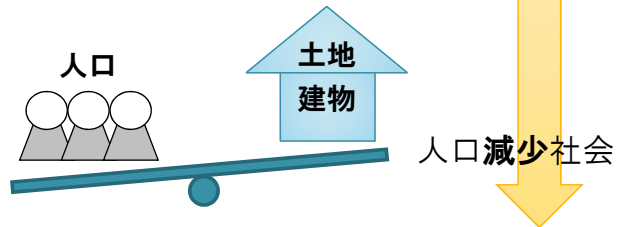
空家・店舗工場跡地や
耕作放棄地の増加

人口が減少する一方で住宅数は変わらない
経済・産業活動の縮小や後継者不足等

⇒空き家、空き店舗、工場跡地数は増加
⇒景観の悪化、治安の悪化、防災上の問題



人の数は減少
物の数は変わらない

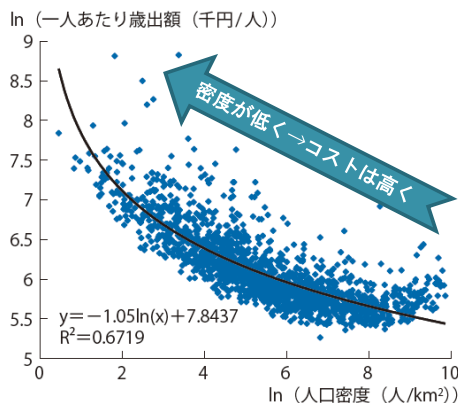


将来像の把握（人口予測の視点から）

人口減少が
まち・生活に与える影響

人口密度と行政コストの関係
(税込減による行政サービスの低下)

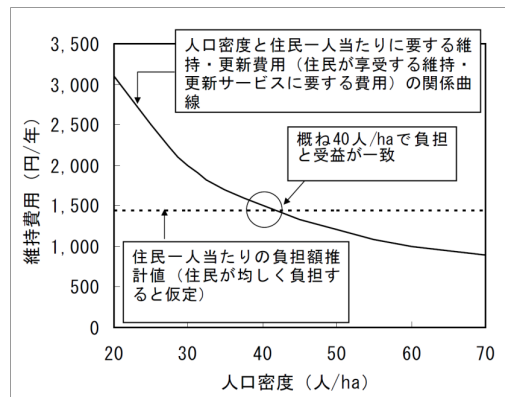
市町村の人口密度と行政コスト



(注) 行政コストは、総務省「市町村別決算状況調」をもとに、2006年度から2008年度の3年間の平均値を算出したもの。
資料) 国土交通省「国土の長期展望とりまとめ」

出典: 国土交通白書H26

富山市の市街地の人口密度と
都市施設の維持費用の関係



注) ここで、取り上げた都市施設の維持とは除雪、道路清掃、街区公園管理、下水道管渠管理。

出典: 富山市資料

将来像の把握（人口予測の視点から）

目指すべき将来の方向
（人口ビジョン素案より）

今後、進展が見込まれる少子高齢化及び人口減少を克服し、将来世代に活力ある地域社会を引き継いでいくため 5つの視点で施策を実施し一定規模の人口を確保する

視点1 しごとの創出と確保

視点2 移住・交流の促進

視点3 少子化対策・子育て支援

視点4 活力ある地域づくり

視点5 広域市町村連携

持続可能な都市構造の構築